

５ 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	788.07	0	823.04	0	720.00	0
うるち米	465.17	0	487.04	0	460.00	0
もち米	281.71	0	294.81	0	260.00	0
酒造好適米	41.19	0	41.19	0	40.00	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	90.32	0	73.76	0	100.00	0
玄米	70.42	0	66.2	0	80.00	0
ＳＧＳ	19.90	0	7.56	0	20.00	0
米粉用米	2.15	0	4.31	0	5.00	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	46.56	0	53.28	0	50.00	0
加工用米	138.36	0	128.60	0	140.00	0
麦	15.24	0	19.93	0	22.00	0
大豆	44.49	0	41.12	0	70.00	0
飼料作物	96.93	0	94.89	0	68.00	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	73.34	0	42.46	0	85.00	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	12.72	0	11.52	0	18.00	0
・野菜	12.35	0	11.20	0	17.42	0
・花き	0.14	0	0.09	0	0.15	0
・果樹	0.23	0	0.23	0	0.43	0
・その他の高収益作物	0	0	0	0		0
その他	126.23	0	134.16	0	150.00	0
・土地改良通年施行	96.90	0	100.35	0	130.00	0
畑地化	20.23	0	48.15	0	83.23	0

※ 畑地化の面積については、前年度作付面積等は内数、当年度及び令和８年度作付予定面積等は外数で計上しており、記載方法が異なります。

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）	目標値
1	飼料用米（玄米・SGS）、WCS用稲	新規需要米生産量確保支援	作付面積	136.87ha	150.00ha
			飼料用米（玄米）	70.42ha	80.00ha
			飼料用米（SGS）	19.89ha	20.00ha
			WCS用稲	46.56ha	50.00ha
			供給量	1611.1t	1,926.0t
			飼料用米（玄米）	418.9t	330.0t
			飼料用米（SGS）	183.7t	396.0t
			WCS用稲	1,008.5t	1,200.0t
			収穫量（単収10a当たり）	—	—
			飼料用米（玄米）	594.9kg	660.0kg
2	飼料用米（区分管理に限る）・WCS用稲・小麦・大豆・小豆・飼料作物・そば・高収益作物（野菜）	田畑輪換支援	田畑輪換実施面積	35.9ha	（令和7年度） 50.0ha
			作付面積		
			小麦	15.2ha	30.0ha
			大豆	44.5ha	70.0ha
			単収（10a当たり）		
			小麦	379.7kg	300.0kg
3	きゅうり・米なす・ミニトマト・アスパラ・ねぎ・ピーツ	高収益作物生産支援（振興野菜）	作付面積	3.50ha	4.00ha
4	南瓜、スイートコーン、サツマイモ、春菊、花き、果樹	高収益作物生産支援（奨励野菜）	作付面積	2.93ha	14.00ha
5	そば	そば作付支援	作付面積	73.34ha	85.0ha
6	小麦、大豆、そば	収量・品質向上支援	取組面積		
			小麦	15.2ha	22.0ha
			大豆	40.9ha	66.0ha
			そば	51.5ha	75.0ha
			収穫量（単収10a当たり）		
			小麦	380kg	300kg
			大豆	260kg	240kg
			そば	51.0kg	67.5kg
			実施率		
			小麦	100.00%	100.00%
7	飼料用米（区分管理に限る）・WCS用稲・小麦・大豆・飼料作物・そば	団地化支援	対象作物作付面積	366.8ha	432.0ha
			団地化面積	198.9ha	280.0ha
			団地化比率	54.2%	64.8%
8	飼料用米（区分管理に限る）・WCS用稲・小麦・大豆・飼料作物・そば	省力化技術導入支援	ICT技術導入農家戸数	35戸	（令和7年度） 37戸
			ICT技術導入農家割合	48.6%	53.6%
			ドローン作業面積	98.0ha	100.0ha
			直播栽培面積	26.6ha	30.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

北海道

協議会名:愛別町農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	新規需要米生産量確保支援	1	19,000	飼料用米(玄米・SGS)、WCS用稲	次の取組から2つ以上実施。①温湯種子消毒の実施 ②土壌診断結果に基づく施肥 ③ケイ酸資材の施用 ④明暗渠排水の整備、心土破碎、穿孔排水による透・排水性の改善 ⑤融雪剤散布、収穫後の溝切り、秋耕によるほ場の乾燥化 ⑥多収品種による作付け ⑦GAP(JAグループGAP等)の取組
2	田畑輪換支援	1	10,000	飼料用米(区分管理に限る)、WCS用稲、小麦、大豆、小豆、飼料作物、そば、高収益作物(野菜)	次の取組から1つ以上実施。①除れき ②不耕起栽培 ③無代かき移植 ④明きょ・暗渠の整備 ⑤心土破碎による排水対策 ⑥深耕 ⑦均平整地 ⑧土壌診断に基づく施肥 ⑨畦畔の補修又は再構築
3	高収益作物生産支援(振興野菜)	1	40,000	きゅうり・米なす・ミニトマト・アスパラ・ねぎ・ピーツ	対象作物の作付
4	高収益作物生産支援(奨励野菜)	1	30,000	南瓜、スイートコーン、サツマイモ、春菊、花き、果樹	対象作物の作付
5	そば作付支援	1	20,000	そば	対象作物の作付
6	収量・品質向上支援	1	6,000	小麦、大豆、そば	次の取組から3つ以上実施(そばに限り2つ以上)。①土壌改良材の投入 ②農薬散布による除草処理 ③重要病害虫の防除 ④明きょ・暗渠の整備 ⑤心土破碎・深耕・額縁明渠による排水対策 ⑥均平整地など表面排水向上対策 ⑦耕うん同時畝立て播種 ⑧狭畦密植栽培 ⑨土壌診断に基づく施肥 ⑩田畑輪換 ⑪除礫の実施
7	団地化支援	1	1,000	飼料用米(区分管理に限る)、WCS用稲、小麦、大豆、飼料作物、そば	4ha以上のほ場の団地化、又は2ha以上のほ場の団地化を2団地以上形成
8	省力化技術導入支援	1	2,000	加工用米、飼料用米、WCS用稲、小麦、大豆、飼料作物、そば	次のいずれかの取組を実施。ICT技術の活用(①ドローンを利用した作業 ②GPSを利用した作業(耕起・整地・移植・施肥・防除・収穫) ③リモートセンシング技術を利用した生育診断に基づく栽培管理 ④ICT機器による水管理)、農業機械の共同利用、直播栽培、高密度播種短期育苗、無代かき移植

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

※5 支援年限を記入してください。